

議 平生町  
**議会だより**

第 132 号

2014 年 7 月 25 日

発行 平生町議会  
 〒742-1195  
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
 発行責任者 福田 洋明  
 編集 議会広報広聴調査特別委員会

**わが町 ひらおの清掃活動**



宇佐木コミュニティセンター (6月19日)



佐賀小学校近くの通学路 (7月11日)

平生小・佐賀小の児童と  
 地域ボランティアのみなさん

**6 月**  
**議会報告**

定例会	2ページ
常任委員会審査活動報告	3・4ページ
いっぱん質問	5～11ページ
議会の動きなど	12ページ

# 社会保障・税番号制度に2,525万円



平成26年第2回平生町議会定例会が、6月16日から25日までの10日間の日程で開かれ、議案として、補正予算1件、事件1件、承認3件が上程されました。各議案は、全会一致及び賛成多数で可決承認されました。一般質問は8人の議員が町政の諸課題について質問しました。

補正予算は、一般会計に2,655万円を追加補正し、予算総額49億5,755万円となります。

今回の補正は、社会保障・税番号制度導入支援業務、平生小学校の給食室改修についてです。

社会保障・税番号制度は、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤で、平成27年10月に個人番号の付番と通知をし、平成28年1月から制度開始の予定です。

給食室の改修は、下処理室の内壁にハネアリが発生し、シロアリによる被害も認められたことから、給食の安全確保のための壁のボード張りかえです。

## 歳入

### ▽国庫支出金

980万円増額

### ▽基金繰入金

1,675万円増額

## 歳出

### ▽総務費

2,525万円増額

### ▽教育費

130万円増額



※マイナンバー（個人番号）とは。住民票を有する全ての住民に対して、1人1番号のマイナンバーを住所地の市町村長が指定します。原則として、一度指定されたマイナンバーは生涯変わりません。社会保障・税・災害対策の分野で保有する個人情報とマイナンバーを紐づけ、効率的に管理・活用して、情報連携できるようになります。

# 常任委員会審査報告

## 総務厚生常任委員会

6月16日に本会議から付託を受けた所管事項について6月23日に慎重に審査した結果、付託議案は、全会一致、賛成多数で承認しました。  
主な審査経過は次のとおりです。

### 補正予算

**質** 社会保障・税番号制度システム整備費は、国の事業だが、全額国の負担にはならないのか。

**答** システム稼働のための純然たる改修費相当額しか認めない国側と付随経費も改修費の一部であるとする市町村側の解釈には大きな隔たりがある。

### 事件

**質** 町社協に無償で貸し付ける旧心身障害者福祉作業所の建物について、今後修繕を要

### 承認

**答** 貸し付け前の点検・修繕も済ませており、今後は借主負担となる。  
する場合はどうなるのか。

**質** 国保会計の繰上充用額と最終赤字額の見込額との乖離と、今年度の保険税改定との関係はどうなるのか。

**答** 想定以上の国からの財措置と最終給付額の落ち込みがあった。制度の県への移行までを見据えた改定である。

**質** 軽自動車税の増収と交付税換算の関係性は。

**答** 現段階では取り扱いが未定であるが、交付税の本来の役割である税の再配分機能は果たされるべきである。

**質** 保険税条例改正について3月議会での内容と今回の専決処分内容との関係性は。  
**答** 専決処分を行なっ

た介護納付分の引き上げなどの内容については、3月議会時には国会では上程段階にあった。  
当初予算の算出にあたっては、この国会成立から条例改正までの見込み、3月議会での保険税改正の内容に加味して加算する必要があったものである。

## 産業文教常任委員会

6月16日に本会議から付託を受けた所管事項について6月20日に慎重に審査した結果、付託議案は、全会一致で承認しました。  
主な審査経過は次のとおりです。

### 補正予算

**質** 学校現場での給食室の点検はされていると思うが、教育委員会による衛生管理体制はどうなっているのか。

**答** 定期的には行っていないが、異常発生時の連絡体制は整っている。

# 意見書

この意見書は、ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求めるものです。

総務厚生常任委員会で付託審議され、25日の本会議にて賛成多数で可決しました。  
※この意見書は、内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆参両議院議長に提出します。

## ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

国内最大級の感染症であるB型・C型ウイルス性肝炎の患者は、全国で350万人以上にも上るとされ、肝炎対策基本法案においても国としての責任が確認されており、種々の対策が実施されているところである。

その対策の一環である肝炎治療特別促進事業として実施されている医療費助成制度において、山口県では、平成20年度事業開始以来、約3000人の患者が認定を受けているところである。

しかしながら、現行の制度は、B型・C型肝炎ウイルスを減少させ、肝硬変や肝がんへの進行を予防することを目的としているから、医療費助成の対象から外れている患者が相当数に上る。特に、肝硬変・肝がん患者は高額の医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労にも支障が出るなど、生活に困窮を来している。

また、身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準は極めて厳しく、患者の実態に沿ったものになっておらず、生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされているところである。

本町においても、こういった状況下におかれた患者に対し、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

よって、国におかれては、次の事項を実現するよう強く要望する。

### 記

- 1 ウイルス肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月25日 山口県平生町議会

# 委員会行政視察研修報告

## 総務厚生常任委員会

## 産業文教常任委員会

総務厚生常任委員長は、地域福祉、地域振興をテーマに大分県別府市、宮崎県高千穂町、福岡県遠賀町を訪問し、視察研修を実施しました。

合弁で設立されたオムロンの特例子会社で、社員に占める障がい者の割合は非常に高く、障害者の視点を生かした商品開発・製造に取り組み姿勢に感銘を受けました。

5月14日、別府市では、オムロン太陽株式会社を訪ねました。「世に心身障がい者（児）はあっても仕事に障害はありえない」を信念に活動していた社会福祉法人「太陽の家」創始者の中村裕と、「企



高千穂町（宮崎県）

業の見直し、積極的な事業のPRの検討、報告会の実施など事業成果還元方法の検討、職員の意識改革として積極的に地域に飛び出し事業への積極的な関わりを持つようにするそうです。



オムロン太陽（大分県）

業は社会の公器である」というオムロン創業者の理念が協調し、福祉施設と民間企業の

5月15日、高千穂町では、「ふれあいバス」について説明していただきました。赤字は、覚悟の運営のようでこれからの財政が厳しくなると、どうなるか心配でした。5月16日、遠賀町では、「がんばる地域まちづくり事業」について説明していただきました。



遠賀町（福岡県）

産業文教常任委員会では、5月20日から22日まで、岡山県早島町、高知県佐川町、愛媛県内子町で視察研修を行った。

佐川町では、住民が主体となり、若い力で観光協会を運営し、地域資源の活用による農産品のブランド化に取り組んでいる。地域住民の熱意と、担当の町職員の強力なバックアップにより、製品の売上げと観光客の増加を実現している。型にはまらない取り組みが新しい動きを支えている。

早島町では保育園も含めて各学校・園が情報の共有や園児・児童・生徒の交流と連携を強化され、町全体として一貫教育を強化している。その結果、学力の高い小学生が進学の際に町外の有名進学校へ転出していることが課題になっている。町と町民全体で、子供たちを育てることが必要である。



早島町（岡山県）



佐川町（高知県）

内子町の特産品直売場は、住民が株主となり運営に深くかかわっている。女性や高齢者の活躍の場にもなっている。



内子町（愛媛県）

今回視察した3町とも、担当職員が一生懸命に取り組み、住民もみずから自分たちの町の発展に尽力している。両者が自然につながり、地域の力が発揮されていると感じた。



細田留美子 議員

# いっばん質問



が聞きたい

## 質 職員の人材育成は

### 答 職員人材育成基本方針で対応

**質** これからの人口減少や財政の逼迫(ひっ迫)に的確な対応のできる職員の人材育成がこれまで以上に重要となってくる。目指す職員像と人事異動や登用、人事評価制度などそのための育成方針を聞く。

また住民と協働するため職員と地域力をどう引き出していくのか。

一般職の管理職に女性が少ない。女性の登用はどう考えているか。



庁舎内の女性職員

**答** 町長 職員人材育成基本方針に基づいて研修・組織規範の醸成・採用・配置などの人事管理などを中心に取り組んでいる。人事評価は、管理職を被評価者とする評価のみ実施しており、一般職を対象に行う評価の実施については、現在協議中である。

地域担当職員を決めるなど以前から地域に飛び込んでいくよう繰り返し伝えていく。女性の登用は計画的な研修も含めて進めていきたい。

## 質 人口減少に対する施策はあるか

### 答 人口減少のカーブを緩やかにしていきたい

**質** 有識者会議の日本創生会議によれば、平生町の20才から39才までの女性人口は2040年には2010年の半分以下になると試算された。町の総合計画の人口予想は現実的か。人口問題解決の要となる若者定住対策は進んでいるか。

残された任期で計画の責任をどのように果たしていくのか質問をする。



七夕まつり (保健センター)

**答** 町長 総合計画での人口目標を達成していくことは現状では非常に厳しい状態である。

この人口減少のカーブをどう緩やかにしていくかが大きな課題だ。この対策には総合的に取り組んでいく。

若者定住対策では、住宅対策だけでなく雇用対策も重要だ。若者自らが仕事を起こす起業支援も考えたい。広域で協力して婚活や移住PRも予定している。計画の責任者として真摯(まじん)に受けとめ責任を果たしていきたい。



村中仁司 議員

**質** 山田町長の次の町長選の出馬は

**答** 引き続き責務を全うしていく



山田町長

**質**

今年12月10日で町長の任期満了となる。4選目の決意として、第4次総合計画を仕上げ、責任があり、引き続き続投して責務を全うしたいと言われた。5選目となると町民の審判を受けるべきと思うが告示まで5カ月近くあり、どのような動きになるかわからないが、山田町長の出馬があるのであれば、その想いを聞きたい。

**答**

町長

引き続き町民の皆様のご支持がいただけるなら、その責務を全うしていく覚悟である。私自身、これまで任期を重ねてきたがそのことはそれだけ責任が重くなることである。自らに慢心はないか、自分を映す鏡に曇りはしないか、自問自戒しながら、対話と信頼の原点に返って町民とともに歩んでいく基本的な姿勢を堅持してまいりたい。

**質** 排水機場について

**答** 点検は月に1回、試運転は月2回している

**質**

排水機場の役割は洪水を防止し町民の生命と暮らしを守ることである。平生町においては地勢的には治水対策は欠くことのできない重要な施策となっている。町内の排水機場の日常の点検、梅雨、台風シーズンの特別点検、発電機の点検はどのようになっているのか。発電機の燃料の確保はどれくらいしているのかを伺う。

**答**

町長

河川管理施設である大内川の排水機場、中川の排水機場、曾根の排水機場については月に1回の点検及び月に2回の試運転をしている。

発電機は、日常の点検、定期点検は月1回、試運転は2回している。燃料は大内川が37kl・中川3kl・曾根が10klである。各排水機場の燃料残量を随時確認し燃料不足を起さないように補充している。



大内川排水機場



渕上正博 議員

**質** 町民の安心・安全は上関原発建設中止で

**答** 状況を見極め判断する

**質**

関西電力の大飯原発再稼働、差止めを求めた訴訟で示された判決は、人の生命を基礎とする人格権を最も重視した。

二点目は福島原発事故で、命令違反し、9割の従業員が第2原発への撤退という事実、これについては、放射能の怖さを知識として持っているにほかならない。

こんな危険な原発を上関に建設させるわけにはいかない。町長の考え方は。

**答**

町長

今までの、原発訴訟とは違った論点でこの判決が導かれている。国はこの4月にエネルギー基本計画を策定し、原発をベースロード電源という位置づけをしており、原子力の規制委員会での適合審査等々を注視して見極めていく必要がある。上関の原子力発電の建設計画への対応は国や県や地元、本町議会の動向等々を踏まえて全体の状況を見極めて判断させていただく。



原発予定地の上関町

**質** 教育委員会制度改正についての考え方を伺う

**答** 協議調整していくことが基本となる

**質**

今回の改正法案で、教育施策の方針となる「大綱」は首長が策定し教育委員会はその具体化をさせるとしている。

また、事務局のトップである教育長を教育委員会の代表者とし、現在の教育委員長は廃止となる。

これは、教育委員会の独立性を奪い、首長が教育内容の仕組みをつくる事になり、教育の自由と自主性を侵害する。町長及び教育長の考えは。

**答**

町長

首長が主催する総合教育会議、また、大綱の策定ということ为首長と教育長が相互の権限、立場を尊重し互いに協議調整していくことが基本となり連携を十分にとつてまいりたい。

**答**

教育長

今後の教育行政を首長の責任、附帯決議を踏まえた上で展開していかねばならない。



教育関係法令集



岩本ひろ子 議員

質 町民への指揮を出す庁舎について

答 庁内検討委員会において協議していく

質

近い将来南海トラフ地震が起こるかもしれないといわれている今日で、東日本大震災で庁舎が被災し、職員がなくなり、指揮を出せなくなるということがあった。わが庁舎も築50年以上経っている建物でコンクリートも剥がれ落ちそうで安全な建物だとは思われない。

本庁舎の耐震性と老朽した庁舎をどのようにしていくのか。

答

町長

平成21年度第1次診断調査の結果構造耐震判定指標を大きく下回っており、早急に第2次診断と補強の設計が必要であり、更に建て替えも視野に耐力度調査が必要という結果になっている。昨年から平生町の新庁舎整備検討委員会を発足させて財政問題を含めて検討を開始している。引き続きこれからも協議をしていきたい。



築53年の老朽庁舎

質 町民の生命を守る防災について

答 デジタル化に向け取り組みを進めている

質

防災マップは各家庭へ配布されているがその避難場所に行く道路・河川の整備・管理等の確認がされているのか。又、地震速報の訓練放送をされたが、聞こえる所と聞こえない所があったが、その確認はされたのか。聞こえなかった所の対処法はどのようにされるのか。住民への周知や防災対策への積極的な取り組みは、身近に感じるような防災の点ではどのように進めるのか。

答

町長

避難所については公施設等を町で指定しているが避難道路については具体的な位置づけや道路整備はしていない。避難ルートはそれぞれ皆さんが選択し、家庭で日ごろから話し合いをして頂き、防災訓練の時に体験・危険場所の確認をして頂くというのが現状である。防災行政無線についてはデジタル化に向けて取り組みを進めており、今年度拡声子局10カ所設置、来年度にはほぼ終わる。



防災無線子局





平岡正一 議員

**質** 人口減少対策、本腰を入れた取り組みを

**答** 引き続き定住対策を考えていく

平生町の近年の年末時（12月31日）人口  
（単位：人）

暦年	人口	増減
平成21年	13,126	—
平成22年	13,082	△44
平成23年	12,994	△88
平成24年	12,974	△20
平成25年	12,810	△164
平成26年 【6月30日現在】	12,787	△23

（※24年以降は外国人数を含む）

**質**

昨年から急激な人口減少が続いていたが、このところ少し落ちついている。

町は第一次総合計画から人口を増加させる目標で取り組んできた。第四次では、統計上の予想値は減少となっていたが現状維持を目標としている。町の人口対策が見えない。組織内に検討組織をつくるなど強力な取り組みが必要と思う。

**答**

町長

現状については、この目標の定住人口を達成していくのは大変厳しい状況にあるという認識は持っている。もっと細かく分析をする必要があるとも思っている。特に平成25年が164名減少だが、それまでは20人とか2桁台で推移していたが、いずれにしても若者の定住対策を中心に引き続き取り組んでいく。

**質** 森林税を活用して竹林拡大防止対策を

**答** 対応しているが、成果があがっていない

**質**

平生町の地形は山の姿を下からほとんど見ることが出来る。

山を見ると竹林の拡大が急速に進んでいる様子が良くわかる。

町民は500円の森林税を納めている。町全体では年間380万円程度になるが、対策事業はあまり進んでいない。

山林所有者に個別に連絡するなど積極的に進めないと災害が発生するおそれがある。

**答**

町長

昭和60年代から平成にかけて、急に竹林の繁茂が進み、その対応策、有効利用の色々な取り組みが行われてきた。

タケノコの生産、竹を活用したバイオマス等の研究会もあったが困難性があり今日に至っている状況である。

**答**

経済課長

現在までに公益森林整備事業の竹繁茂防止事業に約2,400万円程度が使われている。



繁茂する竹林



久保俊一 議員

**質** **これが未来を拓くまちづくりの予算か**

**答** **町独自の施策（予算）も当然入っている**

**質**

実践テーマとして『まちづくりポイント』を予算編成されているが、予算152件中、継続127件・新規25件であるが、実践テーマすべてが、行政を維持する通常の予算としか感じられないが、平生町独自の予算はあるのか。

**答**

町長 予算の編成方針において、実践テーマに基づいて施策を割り振っている。本町にとっても必要不可欠な予算もこの中に入っている。これらを実施することが実践テーマのまちづくり予算という形で受けとめている。皆さんからのいろいろな指摘等踏まえながら、いろんな事業に取り組み、ソフト・ハードの両方の面から、町独自の施策もこの中には当然入っている。

平成26年度予算編成テーマ  
『「協働」で未来を拓くまちづくり』

- ・参加と協働のまちづくり  
[協働・自治]
- ・住み良さを実感できるまちづくり  
[安全・安心・福祉・環境]
- ・子どもたちの未来を育むまちづくり  
[子育て・教育]
- ・地域資源を生かしたまちづくり  
[産業・観光]
- ・健全な財政で未来を拓くまちづくり  
[行財政]

実践テーマ（まちづくりポイント）

**質** **町長部局と教育委員会の話し合いは**

**答** **公民館のあり方等は協議してきた**

**質**

住民自治組織づくりとして、各公民館（地域）単位でコミュニティ協議会の設立を交付金を交付して支援しているが、町民が理解していないのに設立ではなく、町長部局と教育委員会で、話し合い、規約を作る事が必要ではないか。見切発車しても何も得る事はないと思うが。

**答**

町長

平成24年度に条例の制定、昨年度は推進プランの策定、手順を踏みながら、時間を十分にかけ、各地区で会議を重ねて、組織づくりに向けて協議を進めてきている。町長部局と教育委員会で、公民館のあり方等について昨年からの協議してきた。

**答** 教育長

これまで推進してきた立場としてさらに生涯学習を進めて、まちづくりとお互いに相乗効果が生まれるのが、理想である。

『住民自治組織づくりの支援』

「地域コミュニティの充実」を重点に、自治会よりも大きな枠（公民館単位）で、自治会・団体・行政が連携し地域の課題や将来像を話し合い、知恵を出し合いながら協議し、「自助・共助・公助」の視点で役割を担う住民自治組織づくりを支援していきます。

（基本的な考え方）

自分たちの地域は  
自分たちの手でつくりよう。

平生町協働推進プラン（概要版）



河藤泰明 議員

### 質 消防団員の研修体制の整備を

### 答 指導体制をしっかりとつくる



送水訓練の様子

#### 質

自然災害は、ごく身近になった。法律も整備され、重要性も責任や役割も増えた。団員が消防団とは何か理解した上で自信を持って安全に活動することが、平生町民を守ることにつながる。新入団員からベテラン団員まで、それぞれにあった研修の仕組みを整備してはどうか。

#### 答

町長

現在201名の団員が活動しており、過去5年で61名の新入団員がいる。現在の指導体制は、各団に任せてあるが、本年度からは、礼式訓練をはじめ、無線操作や危険予知訓練を計画している。具体的に習得できる充実した体制づくりをしっかりとしていく。



松本武士 議員

### 質 ESDの取り組み状況は

### 答 ESDの趣旨と合致した事業を進める

#### 質

持続可能な地域づくりの担い手を育てることを目的とするESDを普及させることが、平生町の課題解決の一步となるのではないかと。

平生町では、ESDに対してどのように取り組んでいるのか。小中学校でのESDはどのように行われているのか。

※ESDとは、一人ひとりが世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていくことを認識し、持続可能な社会の実現に向けて行動を変革するための教育です。

#### 答

町長

ESDという名称は使っていないが、その趣旨と合致した事業を町としても展開していると思っている。したがって、引き続き協働のまちづくり等でのリーダー育成等で続けていきたい。

#### 答 教育長

小中学校では、現行の学習指導要領の中に「持続可能な社会の構築の観点」が盛り込まれており、このことによりESDの考えに沿った教育が行うことができるかと考えている。



「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の略称

# 投稿コーナー

## どくだみの花

平生町大野北

岩見喜代子

家の裏の木かげに今年もどくだみの花が咲いた。花は白くかれんだが、葉やくきは何とも云えない異臭がする。

この花を見ると亡き父のことを思い出す。小学生の頃私は蓄膿症を患っていた。通院しても中々直らずいやがる私に父は薬草療法を試してみるかと言ってあぶったどくだみの葉を手でもんで鼻の中に入れる方法だ。いやなおいはするし夕方父が勤めから帰る頃になるとそっと家を抜け出し友達の所へ遊びに行ったものだった。

どくだみのおかげかどうかは分らないが蓄膿症もよくなった。わんまんで厳格な父も三十年も前に亡くなったが今でも私への愛情をひしひしと感じている。



## 傍聴してみませんか？

いつも「議会だより」お読みいただき、ありがとうございます。

都議会や兵庫県議会のおかげで、困った方向で身近になった議会ですが、「議会」って馴染みないですよ。広報委員は、読みやすく、分りやすい広報誌を目指して努力しています。しかし、ページ数も限られているため、全てをうまく伝えることが出来ません。

そこで、みなさんにご提案です。「議会を傍聴してみませんか？」文字で見ると、議場で直接、目で見て聞くのでは、全く違います。特に一般質問は、議員ひとりひとりの政治姿勢や気持ちも感じることができます。

また、答弁をする執行部の本気度も肌で感じることもできます。日程などは、議会事務局か、身近な議員におたずねください。

## 原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

・字数 400字以内

・提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承ください。掲載文には薄謝を差しあげます。

## 議会の動き

(H26・3/6)

H26・6/15

26年	3月6日	議会広報広聴調査特別委員会
	3月17日	議会運営委員会
	3月26日	平成26年第2回 熊南総合事務組合議会
	3月27日	議会広報広聴調査特別委員会
	4月9日	議会広報広聴調査特別委員会
	4月11日	4月定例農業委員会総会
	4月16日	議会広報広聴調査特別委員会
	5月12日	産業文教常任委員会
	5月19日	5月定例農業委員会総会
	5月30日	総務厚生常任委員会
	6月2日	議会運営委員会
	6月5日	議会全員協議会
	6月10日	6月定例農業委員会総会

## 編集後記

「東京都議会」に「兵庫県議会」と、関係自治体の住民の方にとっては、困った問題が明るみにになりました。しかし、これまで「議会」のことが普段の会話の中で話題になることがあったでしょうか。

ただ、これを批判や笑い話で終わらせず、これをきっかけに「行政」「議会」「議員」のことを身近なこととして考えていただければと思います。

ちなみに、平生町議会の議員報酬は当選回数や年数による増減はありません。話題になった「政務活動費」や「費用弁償」などもありません。

この「議会だより」も費用は税金です。無駄遣いと指摘されないよう、しっかりと取組んでいきたいと思っております。

河藤泰明

